

令和5年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名：長野県

農業委員会名：小海町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和5年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和5年2月1日

任期満了年月日 令和8年1月31日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者	—	7
認定農業者に準ずる者	—	1
女性	—	1
40代以下	—	—
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	2	2	2

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	358
農業経営体数	143

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	252
女性	108
40代以下	38

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	45
基本構想水準到達者	17
認定新規就農者	—
農業参入法人	4
集落営農経営	—
特定農業団体	—
集落営農組織	—

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	173	715	—	—	—	888

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	888	ha	336	ha	37.8	%
課題	農業者の高齢化が進んでいるほか、新規参入者の確保も難しい中で、これまで以上に担い手への農地の集積が求められる。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和10年度	集積率	60%
今年度の新規集積面積	19ha	農地面積(C)	888ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	355ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	40.0%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	123.4ha	106.8ha	16.6ha
課題	農業従事者の減少と高齢化等による遊休農地の増加が顕著であり、中山間地域特有の傾斜地や不整形な農地についての利用方法が課題となっている。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	97ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	19.4ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	22ha
--------------------------	------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	土地所有者への聞き取り及び利活用を促すほか、地域の農業者等に情報共有を行い、町や農業開発公社等と連携しながら解消に向けた土地利用を図る。
-------------------------	--

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.3ha
---------------------------	-------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和2年度新規参入者		令和3年度新規参入者		令和4年度新規参入者	
	2	経営体	0	経営体	0	経営体
	2.5	ha	0	ha	0	ha
課題	中山間地域のため、狭小、荒廃の程度が著しいなど生産性の低い農地ばかりで、新規参入者に提供できる農地が少ないため確保が難しい。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均	
	13	ha	8	ha	4	ha	8.3	ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積					0.8	ha		

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10	日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	14	人
			農地利用最適化推進委員の人数	2	人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数		3	回
取組時期	取組項目	強化月間の内容	
11月	③新規参入の促進	担当区域ごとに新規参入希望者がいないか聞き取りを行い、必要に応じて町と連携して就農に向けてサポートをする。また、町が開催する新規参入相談会に出席し、農地の賃借等に関する相談を受ける。	
12月	②遊休農地の解消	推進委員等が担当区域ごとに、利用状況調査結果に基づく遊休農地所有者へ個別訪問や電話による意向確認を行う。	
2月	①農地の集積	遊休農地所有者の意向を加味した担い手とのマッチング作業を行う。また、各地区における話し合いに参加して担い手への農地集積を図る。	

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数		1	回
開催時期	11月	相談会名	就農相談会
参加者数	1人	開催場所	小海町
相談会の内容	小海町で就農を希望している者への相談会		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)